

日本体外循環技術医学会北海道地方会
会員各位

第 23 回 日本体外循環技術医学会北海道地方会大会
大会長 江口 洋幸

第 23 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会のご報告

平成 28 年 9 月 17 日（土）、18 日（日）に北海道函館市「函館五稜郭病院 会議室」にて第 23 回日本体外循環技術医学会北海道地方会大会を開催しましたことをご報告致します。

この度の大会は道南地方では初めて函館にて開催致しました。皆さまもご存じのことと思いますが、平成 28 年 3 月 26 日に北海道新幹線が開通しました。しかしながら新幹線は函館までしか開通しておらず、道内各地から函館への交通手段は JR が主となり、交通の便があまり良くない状況です。また、北海道各地へ被害をもたらした台風の影響も未だ残っており交通状況も復旧していない中、北海道内外から約 130 名もの方々に参加していただき、盛況のうちに終了できましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

今大会では、特別講演、共催セミナー、一般演題、ランチョンセミナー、シンポジウムを企画致しました。

大会初日は、特別講演 1 では函館五稜郭病院 心臓血管外科 科長 奈良岡秀一先生より「チーム医療における臨床工学技士の役割」、特別講演 2 では自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部 部長 百瀬直樹先生より「補助循環の基礎・臨床上の工夫そして安全対策」、共催セミナーでは熊本大学医学部附属病院 ME 機器センター 副センター長 芦村浩一先生より「謝辞：人工肺と歩んだ 37 年を振り返る-ビニールシートからインスパイアまで-」のご講演を頂きました。また、共催セミナーの中で芦村様より熊本地震における被災地の現状等を報告して頂き、地震の凄まじさと被災した方々のご心労を考えると胸が痛みました。

大会二日目は最初に一般演題を 12 題も頂き、会場を大いに盛り上げて頂きました。続いたランチョンセミナーでは市立函館病院 心臓血管外科 科長 森下清文先生より「弓部大動脈瘤治療 20 年：選択的脳灌流からステントグラフト法まで」のご講演を頂きました。こちらの講演もとても興味深い内容で、大変に勉強になりました。最後のシンポジウムでは「VAVD は必要か？」という題目で 4 名のシンポジストと今回お招きした先生方を含め 3 名のコメンテーターによる活発な討論が行われました。

学会初日終了後の懇親会では、例年は 30 名程度の参加であるところ、今回は講師の芦村様が奥様とともに参加され、また講師の先生方のご参加もあり、参加者は総勢 60 名となりました。参加された皆様の親睦も深まり、大変盛り上がった懇親会でした。また、講師の先生方や、他の地方会から出席された方からご挨拶を頂き、心より感謝しております。

今大会を開催するにあたり、不手際も多く皆様にご迷惑をおかけしましたことをご詫言申し上げます。また、今回大会運営スタッフとしてご協力いただいた函館地区のスタッフ、JaSECT 北海道地方会幹事の皆様のご支援、そして北海道地方会会員の皆様のご協力により無事に大会が終了できましたことを感謝致します。また、今回の貴重な経験を生かして、今後の JaSECT 北海道地方会のために貢献していきたいと思っております。

最後になりますが、熊本県ならびに北海道の被災地の一日も早い復興をお祈りするとともに、JaSECT北海道地方会のさらなる発展と会員のご健勝とますますのご活躍を祈念しております。また、今回ご協力いただきました、会員ならびに関係者の皆様、企業の皆様に心より御礼を申し上げます。



大会会場の函館五稜郭病院です。

五稜郭公園のすぐ隣です。

<p>第23回日本体外循環技術医学会北海道地方大会 ～チーム医療における臨床工学士の役割～</p>  <p>日時 2016年9月17日(土)15:00～9月18日(日)14:00</p> <p>会場 函館五稜郭病院 管理棟4階 第1～3会議室 〒040-8611 函館市五稜郭町38-3 TEL:0138-51-2295</p> <p>参加費 正会員:2,000円、非会員:3,000円</p> <p>大会費 江口洋幸(函館五稜郭病院 臨床工学士)</p> <p>プログラム 9月17日(土) 1日目</p> <p>14:30～ 受付開始</p> <p>15:00～ 特別講演1 『チーム医療における臨床工学士の役割』 函館五稜郭病院 心臓血管外科 奈良岡 秀一先生</p> <p>16:10～ 特別講演2 『補助循環の基礎-臨床上の工夫そして安全対策』 自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部 宮瀬 達樹先生</p> <p>17:10～ 共催セミナー『最新!人工臓と多臓器移植を繋ぐ心臓移植から人工心臓まで』 熊本大学医学部附属病院 ME機器センター 岸村 浩一先生</p> <p>9:00～ 総会</p> <p>9:30～ 一般演題Ⅰ(6演題)</p> <p>10:30～ 一般演題Ⅱ(6演題)</p> <p>11:40～ ランチセミナー 『弓部大動脈治療20年 選択的駆逐流からスタンダード法まで』 市立函館病院 心臓血管外科 森下 清文先生</p> <p>12:40～ シンポジウム 『VAVD(鎖房吸引補助脱血法)は必要か?』</p> <p>お問い合わせ E-Mail:hiroyuki.eguchi37@gmail.com</p>	<p>第23回日本体外循環技術医学会北海道地方大会 ～チーム医療における臨床工学士の役割～</p>  <p>日時 2016年9月17日(土)15:00～9月18日(日)14:00</p> <p>会場 函館五稜郭病院 管理棟4階 第1～3会議室 〒040-8611 函館市五稜郭町38-3 TEL:0138-51-2295</p> <p>参加費 正会員:2,000円、非会員:3,000円</p> <p>大会費 江口洋幸(函館五稜郭病院 臨床工学士)</p> <p>プログラム 9月17日(土) 1日目</p> <p>14:30～ 受付開始</p> <p>15:00～ 特別講演1 『チーム医療における臨床工学士の役割』 函館五稜郭病院 心臓血管外科 奈良岡 秀一先生</p> <p>16:10～ 特別講演2 『補助循環の基礎-臨床上の工夫そして安全対策』 自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学部 宮瀬 達樹先生</p> <p>17:10～ 共催セミナー『最新!人工臓と多臓器移植を繋ぐ心臓移植から人工心臓まで』 熊本大学医学部附属病院 ME機器センター 岸村 浩一先生</p> <p>プログラム 9月18日(日) 2日目</p> <p>8:45～ 受付開始</p> <p>9:00～ 総会</p> <p>9:30～ 一般演題Ⅰ(6演題)</p> <p>10:30～ 一般演題Ⅱ(6演題)</p> <p>11:40～ ランチセミナー 『弓部大動脈治療20年 選択的駆逐流からスタンダード法まで』 市立函館病院 心臓血管外科 森下 清文先生</p> <p>12:40～ シンポジウム 『VAVD(鎖房吸引補助脱血法)は必要か?』</p> <p>お問い合わせ E-Mail:hiroyuki.eguchi37@gmail.com</p>
---	---

ポスター作りました！縦、横2種類あります！



大会会場です。これから、函館のみなんで頑張って準備します！



会場の様子です。



大会終了後に熊本大学医学部附属病院 芦村浩一先生と
大会長 江口の握手しながらの2ショットです！
本当に、本当にお世話になりました！ありがとうございました！